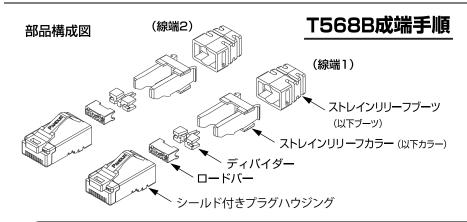


TX6Aシールド付きモジュラープラグ < T568B&T568A>

部品番号:SPS6X88-C

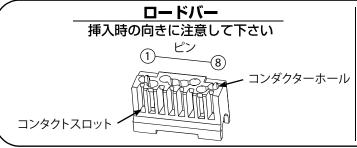
© Panduit Corp. 2017 取扱説明書 PN600A-JP



ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶/白	緑	青/白	青	緑/白	橙	橙/白

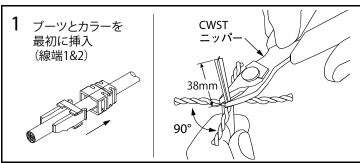
■成端仕様

- ●外被覆外径 最大7.2 φmm
- ●心線絶縁径 最大 1.2 φ mmの単線および 撚り線
- ■T568B結線は茶色対の対角側が橙色対
- ●ドレイン線付きもしくは編組仕様の F/UTP、U/FTPおよびS/FTP ケーブル使用

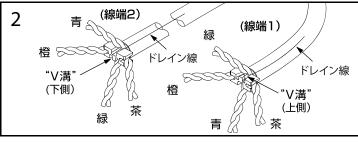


ディバイダー V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



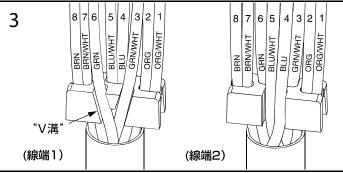


- ◆ブーツとカラーを最初に挿入します。
- ◆ ケーブル端から 38mm ほど外被覆を剥きます。
- ◆ 遮蔽用ホイルを剥きます。編組仕様の場合は編組線でドレイン線を作ります。外被覆に沿うようにドレイン線を折り曲げます。
- ◆ 各対を十字方向のように開きます。(放射状)
- ◆中央に介在物(十字介在)がある場合には、導線を曲げた根本から 4mm ほどの所でカットします。

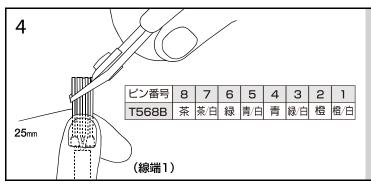


◆ケーブルの両端では構造が異なります。

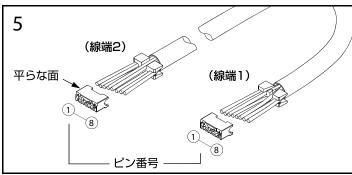
- ◆両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と 緑色対の位置が逆になります。
- ◆ディバイダーのV溝が緑色対に合うようにしてください。



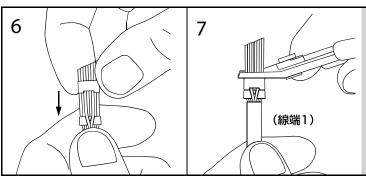
- ◆各対をディバイダーの所まで撚りを戻します。
- ◆ 茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆ 橙色対は対角側の溝に橙色を先に後から橙白をハメ込みます。(7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む)
- ◆ 青色対をディバイダー中央小さい方の溝に 4 番側が青色 で 5 番側に青白となる所で色合わせします。
- ◆緑色対はもう片面の V 溝となっている 3 番側が緑白で 6 番側が緑色となるように色合わせします。(4 番、5 番と 3 番、6 番の溝に合わせる)



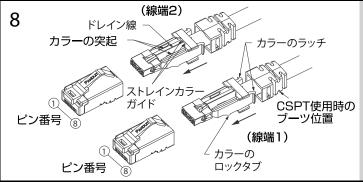
- ◆ ディバイダーを押さえながら各対の撚りを戻して導線を 真っ直ぐに伸ばします。
- ◆1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから 25mm ほど空けて導線を斜めにカットします。(ロード バーの挿入が容易になります)



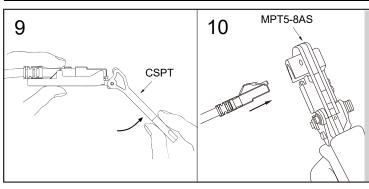
◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロード バーの平らな面が表になっている事を確認してロード バーを挿入します。



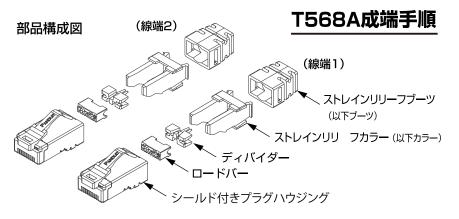
- ◆ ディバイダーとの隙間ができないようにしっかりと挿入します。
- ◆1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながら、カラーの平らな面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。



- ◆ ドレイン線が上になるように、ケーブルの向きを調整します。
- ◆図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ◆ ドレイン線がストレインカラーガイドに沿っていることを確認します。
- ☆ 挿入を補助する CSPT 工具があります。この工具を使用 する時には、ブーツは装着しないでください。



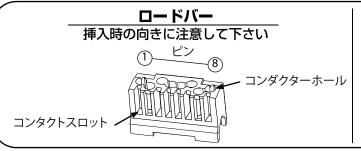
- ◆CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込み ます。
- ◆圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ブーツを装着して成端完了です。



			•					
ピン番号	œ	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶/白	橙	青/白	青	橙/白	緑	緑/白

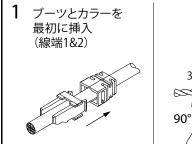
■成端仕様

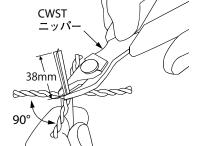
- ●外被覆外径 最大7.2 φ mm
- ●心線絶縁径 最大 1.2 φmmの単線および 撚り線
- ●T568A結線は茶色対の対角側が橙色対
- ●ドレイン線付きもしくは編組仕様の F/UTP、U/FTPおよびS/FTP ケーブル使用



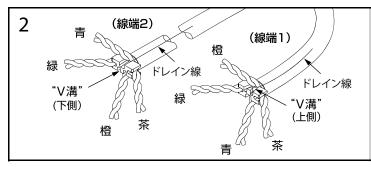






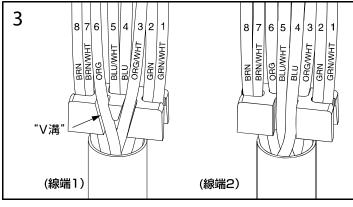


- ◆ ブーツとカラーを最初に挿入します。
- ◆ ケーブル端から 38mm ほど外被覆をむきます。
- ◆ 遮蔽用ホイルを剥きます。編組仕様の場合は編組線でドレイン線を作ります。外被覆に沿うようにドレイン線を折り曲げます。
- ◆ 各対を十字方向のように開きます。(放射状)
- ◆ 中央に介在物(十字介在)がある場合には、導線を曲げ た根本から 4mm ほどの所でカットします。

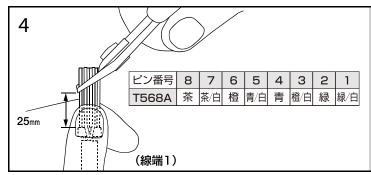


◆ケーブルの両端では構造が異なります。

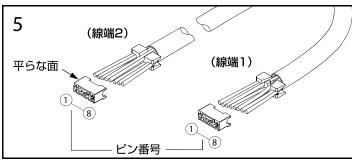
- ◆両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と 緑色対の位置が逆になります。
- ◆ディバイダーのV溝が緑色対に合うようにしてください。



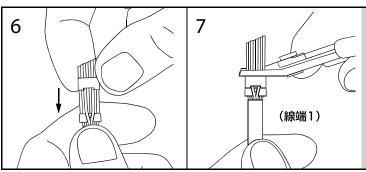
- ◆各対をディバイダーの所まで撚りを戻します。
- ◆ 茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆緑色対は対角側の溝に緑色を先に後から緑白をハメ込み ます。(7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む)
- ◆ 青色対をディバイダー中央小さい方の溝に 4 番側が青色 で 5 番側に青白となる所で色合わせします。
- ◆ 橙色対はもう片面の V 溝となっている 3 番側が橙白で 6 番側が橙色となるように色合わせします。(4 番、5 番と 3 番、6 番の溝に合わせる)



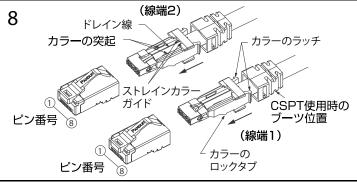
- ◆ ディバイダーを押さえながら各対の撚りを戻して導線を 真っ直ぐに伸ばします。
- ◆1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから 25mm ほど空けて導線を斜めにカットします。(ロード バーの挿入が容易になります)



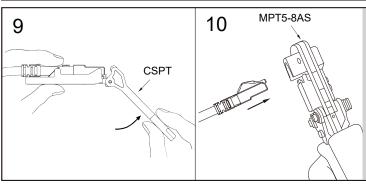
◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロード バーの平らな面が表になっている事を確認してロード バーを挿入します。



- ◆ ディバイダーとの隙間ができないようにしっかりと挿入します。
- ◆1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながら、カラーの平らな面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。



- ◆ ドレイン線が上になるように、ケーブルの向きを調整します。
- ◆図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ◆ ドレイン線がストレインカラーガイドに沿っていることを確認します。
- ☆ 挿入を補助する CSPT 工具があります。この工具を使用 する時には、ブーツは装着しないでください。



- ◆CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込み ます。
- ◆圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ブーツを装着して成端完了です。

技術的なお問い合わせ パンドウイット カスタマーサービス

PANDUIT
http://www.panduit.co.jp/

E-mail: jpn-toiawase@panduit.com

FAX: 03-6863-6100 TEL: 03-6863-6060